



♪ 令和3年度早川南小学校だより ♪

はるき



令和3年12月17日

No.31

校長 河西弘明

合唱に込める想い…！

コロナ禍ゆえのラッキーな出来事が、先日ありました。それは、山梨県の合唱界を長年リードしてきた青洲高校音楽部の合唱団が、本校の体育館で、素晴らしい歌声を披露してくださったことです。

12月3日に早川中学校の合唱交歓会が、本校の体育館で行われました。早川中では、毎年行っている行事だそうですが、今年は人数と広さの関係で本校で開催することになり、お願いをしたところ、私たちにも合唱を聞かせてくださることになり実現しました。6年生が修学旅行中でしたが、5年生

以下は、とても素晴らしい歌声を聴く機会となりました。その声もですが、歌詞を表現しようとする気持ちや歌に込める想い、それをどのように声に乗せるか、そういった合唱にかける姿勢も学べる機会になりました。印象的だったのは、マスクの下に隠された口は見えなかったけど、「目」で歌っているように見えたことです。真剣な眼差しに、歌うことが心底好きなんだな、と感じさせてくれた演奏、そして一音一音を大切に歌う姿から、児童もたくさん学んだ事と思います。(余談ですが、本校卒業生も2名所属していました!)

南小でも、年間を通して合唱活動に取り組んでいます。月の歌を決めて朝・帰りの会で歌ったり、朝の全校集会の機会に練習したりしています。1年生から6年生までの全員で歌うので、最初は歌になるのかなぁ…と正直、少し心配をしていたのですが、徐々に学年の差などは感じなくなりました。低学年生たちのきれいで伸びのある高音が響いてきたり、高学年生のハモる音が旋律を支えたりする合唱になってくるのが、毎年この時期の様子です。本校では全員で音楽活動に取り組むことで、自然に合唱や合奏ができるようになって感じています。日常生活の中に、音楽が普通に溶け込んでいる事の証だと思っています。

今、全校で歌っている曲は「いのちの歌」です。2008年の朝ドラの中で歌われた曲です。優しく、しっとりとしたメロディが特徴的な曲で、歌詞も感動的なフレーズがある曲です。私も車の中で度々聞いている大好きな曲です。高音をきれいに出不さいと、という曲ですが、子どもたちは音程もばっちりに歌いこなしています。一つだけ気になるのが、^{びだくおん}鼻濁音です。「がぎぐげご」の発音が、鼻から抜けて濁らずに出せるともっともっときれいになるよ、と高学年生には伝えて、指導している山本先生からも、時々話してもらって



集会の練習風景～寒い朝でも心が温まります



きれいなハーモニーで3曲を披露してくれました

います。最近、ちょっとだけ発音が変わってきていて、子どもたちが意識して歌ってくれるようになってきた気がします。

2月のありコンでは、合奏と合唱と、両方をお届けできると思います。

それから、もう一つ音楽の話題ですが、東日本合奏フェスティバルの収録を、年明けの1月18日に、身延総合文化会館のホールで行うことになりました。少しでもいい音と映像が収録できるように、専門の業者さんに頼む予定です。冬休み期間は、少しでもマウスピースで音を出して、唇をならしておいて欲しいと思っています。